

世界を変えようとする女性たち

ビルマ、女性に対する暴力への挑戦

軍事政権下の人権侵害 日本は女性への支援続けて

軍事政権が続くビルマでは、軍による女性への性暴力、強制労働、投獄などの人権侵害が後を絶たないという。ビルマの女性活動家を中心に「ビルマ・女性に対する暴力への挑戦」と題するシンポジウムが都内で開かれた。主催はヒューマンライツ・ナウ。(西山由美)

ビルマは1962年から軍事政権が続き、今なお軍の支配下にある。軍の兵士は合計50万人にも上り、国内には合計500以上の大隊がある。GDPの4割以上は軍事費に充てられ、教育や医療、福祉にはほとんど予算がまわらないのが現状だ。しかも軍は、多くの人がびびり強制的に労働や、ビルマ軍のポーター(部隊に同行し、数十キロの荷物を運ぶ)を強いたり、強制移住、財産の没収、不法逮捕、女性に対して性暴力をふるうなどの人権侵害を続けている。このため多くの

人びとは軍を恐れ、故郷を離れているとビルマ女性連盟のティンティンアウンさんは語る。

「女性への性暴力は、兵士が性的な欲求を満たすのではなく、国民を服従させるための手段として、軍の指令の下で行なわれているのです。少数民族地域の女性はもちろん、ビルマの中心地域たちの女性にも被害は及んでいます。ビルマ女性連盟では、被害を受けた女性たちの聞き取り調査を行ないました。被害女性たちは自分の屈辱的な体験をなかなか口にしませんでした。それでもようやく、その時の状況を語ってもらい、報告書を作成し、ビルマ政府に提出しました。しかしビルマ政府は、自分たちは一切関与していないと否定したのです」

同じく来日したミヤラザリンさんは、国外に逃げられる人はまだいいほうで、逃れることもできず、怯えながら生活している人がビルマにはたくさんいる、と語る。

「アウンサンスーチーさんも活動を封じられ、自宅軟禁の状態がずっと続いています。2007年の民主化を訴える反政府デモでは、学生や、仏の存在でもある僧侶までもが弾圧され、日本のカメラマンも命を落としました。それでも私たちは闘っていかねばならない」と訴えた。

「ビルマでも、性被害を受けた女性が法廷に立つことはとても勇気がいることです。女性にとってきわめて恥ずかしいことを、裁判官や検事、弁護士に話さなければならぬのです。周囲も慰めるどころか、あんな服装をしていたからなどと言いつつ、個人の尊厳を傷つけている。ビルマ軍は国家という組織ぐるみでさまざまな人権侵害を繰り返しています。ビルマの平和と民主主義のための運動・アドボカシー活動に対し、ぜひ日本政府に支援を続けて欲しい」とティンティンアウンさん。



ティンティンアウンさん

難民女性・亡命した女性たちは、自分たちの人権と地位向上、そしてビルマの民主化を支援するための女性団体を、ビルマの国境沿いで次々に立ち上げた。その数は25団体にもなり、99年には12の団体を一つの組織につなぐビルマ女性連盟が結成された。自発的な民間の組織を認めていないビルマでは、画期的な出来事だったという。



ミヤラザリンさん

「アウンサンスーチーさんも活動を封じられ、自宅軟禁の状態がずっと続いています。2007年の民主化を訴える反政府デモでは、学生や、仏の存在でもある僧侶までもが弾圧され、日本のカメラマンも命を落としました。それでも私たちは闘っていかねばならない」と訴えた。



渡邊彰悟さん

ビルマ市民フォーラム事務局長の渡邊彰悟弁護士は、在日ビルマ人の難民申請は03年頃から女性の申請



雪田樹理さん

「それまでは民主化運動家の人たちの申請が多かったのですが、軍による女性への性暴力の人権侵害がひどくなるにつれて、ビルマの少数民族の女性たちが日本の弁護士にアクセスするようになりました。しかし日本の法務省は少数民族の女性たちの置かれている状況をほとんど理解していません。また裁判になること

「女性への性暴力は、兵士が性的な欲求を満たすのではなく、国民を服従させるための手段として、軍の指令の下で行なわれているのです。少数民族地域の女性はもちろん、ビルマの中心地域たちの女性にも被害は及んでいます。ビルマ女性連盟では、被害を受けた女性たちの聞き取り調査を行ないました。被害女性たちは自分の屈辱的な体験をなかなか口にしませんでした。それでもようやく、その時の状況を語ってもらい、報告書を作成し、ビルマ政府に提出しました。しかしビルマ政府は、自分たちは一切関与していないと否定したのです」

「アウンサンスーチーさんも活動を封じられ、自宅軟禁の状態がずっと続いています。2007年の民主化を訴える反政府デモでは、学生や、仏の存在でもある僧侶までもが弾圧され、日本のカメラマンも命を落としました。それでも私たちは闘っていかねばならない」と訴えた。

「ビルマでも、性被害を受けた女性が法廷に立つことはとても勇気がいることです。女性にとってきわめて恥ずかしいことを、裁判官や検事、弁護士に話さなければならぬのです。周囲も慰めるどころか、あんな服装をしていたからなどと言いつつ、個人の尊厳を傷つけている。ビルマ軍は国家という組織ぐるみでさまざまな人権侵害を繰り返しています。ビルマの平和と民主主義のための運動・アドボカシー活動に対し、ぜひ日本政府に支援を続けて欲しい」とティンティンアウンさん。

「ビルマでも、性被害を受けた女性が法廷に立つことはとても勇気がいることです。女性にとってきわめて恥ずかしいことを、裁判官や検事、弁護士に話さなければならぬのです。周囲も慰めるどころか、あんな服装をしていたからなどと言いつつ、個人の尊厳を傷つけている。ビルマ軍は国家という組織ぐるみでさまざまな人権侵害を繰り返しています。ビルマの平和と民主主義のための運動・アドボカシー活動に対し、ぜひ日本政府に支援を続けて欲しい」とティンティンアウンさん。

「ビルマでも、性被害を受けた女性が法廷に立つことはとても勇気がいることです。女性にとってきわめて恥ずかしいことを、裁判官や検事、弁護士に話さなければならぬのです。周囲も慰めるどころか、あんな服装をしていたからなどと言いつつ、個人の尊厳を傷つけている。ビルマ軍は国家という組織ぐるみでさまざまな人権侵害を繰り返しています。ビルマの平和と民主主義のための運動・アドボカシー活動に対し、ぜひ日本政府に支援を続けて欲しい」とティンティンアウンさん。